

令和 6 年度

特別支援教育の現状と課題について

豊橋市教育委員会 学校教育課

1

目 次

- 1 特別支援教育について
- 2 特別な支援を必要としている
児童生徒の推移
- 3 豊橋市としての取り組みの
成果と課題
- 4 今後の方向性

2

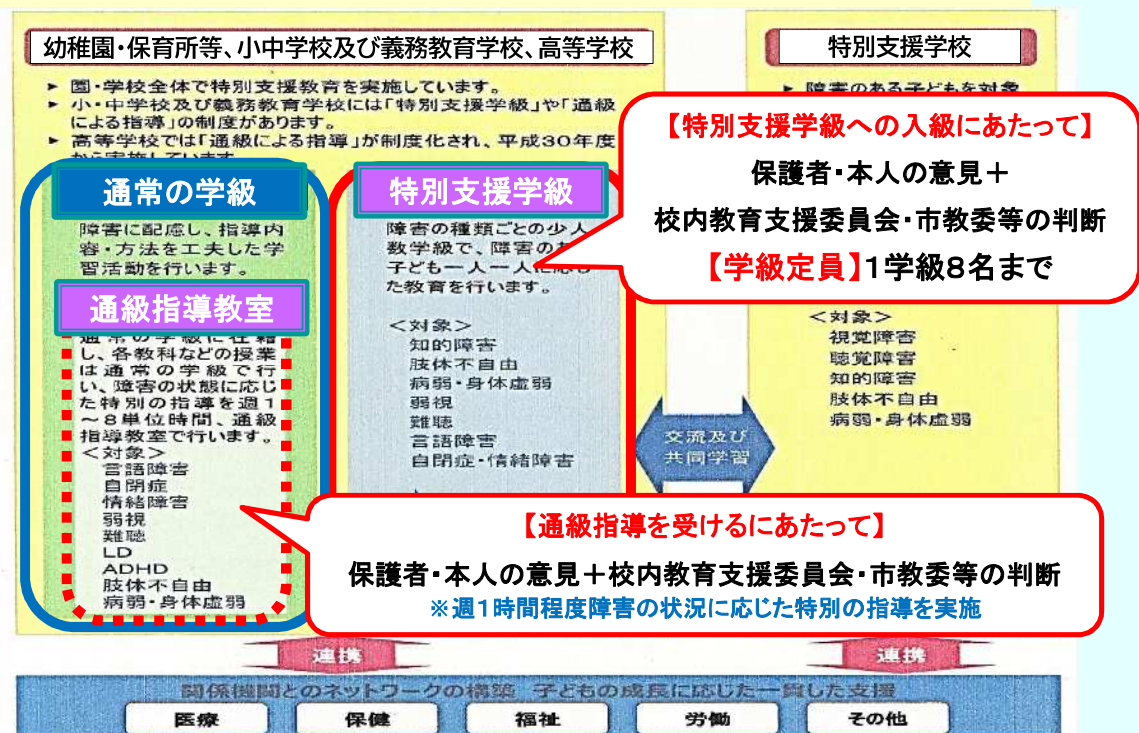
1 特別支援教育について

(1) 特別支援教育の定義

障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導や必要な支援を行うものです。

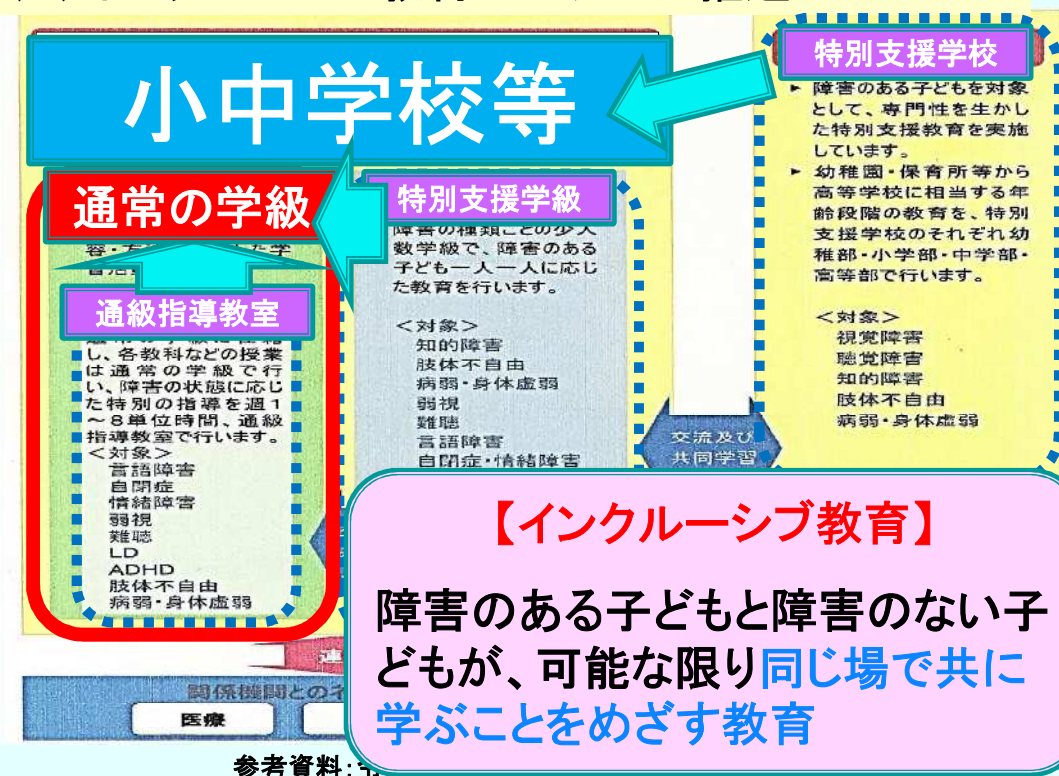
1 特別支援教育について

(2) 連続性のある学びの場における特別支援教育



1 特別支援教育について

(3) インクルーシブ教育システムの推進



目次

1 特別支援教育について

2 特別な支援を必要としている児童生徒の推移

3 豊橋市としての取り組みの成果と課題

4 今後の方向性

2 特別な支援を必要としている児童生徒数の推移

(1) 特別支援学級の児童生徒数の推移について

全国 特別支援学級在籍者数の推移



豊橋市 特別支援学級在籍者数の推移



7

2 特別な支援を必要としている児童生徒数の推移

(2) 通級による指導を受けている児童生徒数の推移

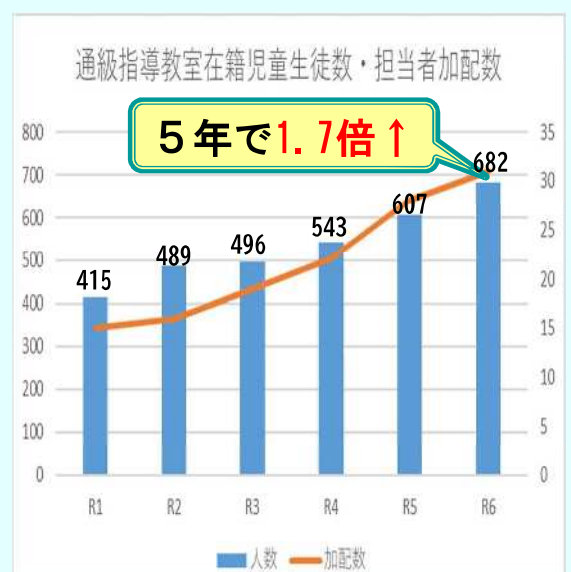
全国

通級指導を受けている児童生徒数の推移



豊橋市

通級指導を受けている児童生徒数の推移



8

2 特別な支援を必要としている児童生徒数の推移

(3) 通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒

豊橋市 通常学級における人的支援を必要としている児童生徒数の推移

5年で1.2倍↑ (文科省調査：10年で1.4倍↑)

	小学校			中学校			小中合計			通常学級 在籍児童 生徒数	人的支援を 必要とする 割合(%)
	医師の診断		合計	医師の診断		合計	医師の診断		合計		
	あり	なし		あり	なし		あり	なし			
令和5年11月	530	1147	1677	249	226	475	779	1373	2152	28984	7.4
令和4年11月	544	1069	1613	278	193	471	822	1262	2084	29593	7.0
令和3年11月	572	1026	1598	262	139	401	834	1165	1999	30022	6.7
令和2年11月	554	961	1515	265	127	392	819	1088	1907	30274	6.3
令和元年11月	527	969	1496	234	160	394	761	1129	1890	30494	6.2
平成30年11月	507	1010	1517	224	133	357	731	1143	1874	30786	6.1

9

目 次

- 1 特別支援教育について
- 2 特別な支援を必要としている児童生徒の推移
- 3 豊橋市としての取り組みの成果と課題
- 4 今後の方向性

10

3 豊橋市としての取り組みの成果と課題

(1) 支援員の配置

○ 特別支援教育支援員（R4年度より配置）

R4年度 5名 → R6年度 10名

○ 新入学児童学級対応等支援員

H30年度 63名 → R6年度 65名

【成果】 個に応じたていねいな支援が多くできるようになった

【課題】 支援が必要な児童生徒は増加しており、現状の支援員では十分な支援ができなくなる

通常学級において、すべての子どもの学びの保証を担保するためには、今以上の支援員が必要になる

3 豊橋市としての取り組みの成果と課題

(2) 通級指導教室の充実

○ 通級指導教室担当教員（H5「通級による指導」制度化）

H6年度… 1名

R1年度… 15名

R6年度… 31名

【成果】 現在、どの学校においても通級指導が受けられる

【課題】 初めて通級指導を担当する教員が増加しており
個々の障害に対する指導法など、教員のスキルアップが必要

3 豊橋市としての取り組みの成果と課題

(3) 医療的ケアの支援体制づくり

○ 医療的ケアを受けている児童生徒数

R6年度 小学校6名(9名) 中学校2名(2名)※()はR5年度

《導尿、インシュリン注射・血糖値測定、喀痰吸引等》

○ 看護師派遣 (R6年度常駐看護師…1名)

- ・派遣看護師1名による90分/1日の支援 (H30年より)
- ・常駐看護師1名配置による支援 (R2年より)
- ・宿泊を伴う看護師派遣の実施 (R6年度新規)

【成果】児童生徒が安心して学校生活を送ることができる

【課題】常駐看護師が必要なR7年度入学予定児童2名への対応

13

3 豊橋市としての取り組みの成果と課題

(4) 外国人児童生徒への支援体制の充実

○ 特別支援学級に在籍している外国人児童生徒数

R6年度…小学校 71名/1339名 (5.3%)

中学校 31名/ 673名 (4.6%)

○ 外国人児童生徒教育相談員

R6年度…28名

【成果】外国人児童生徒教育相談員による通訳派遣等で児童生徒の障害等の状況に気づき、支援につなげることができたことが多くある

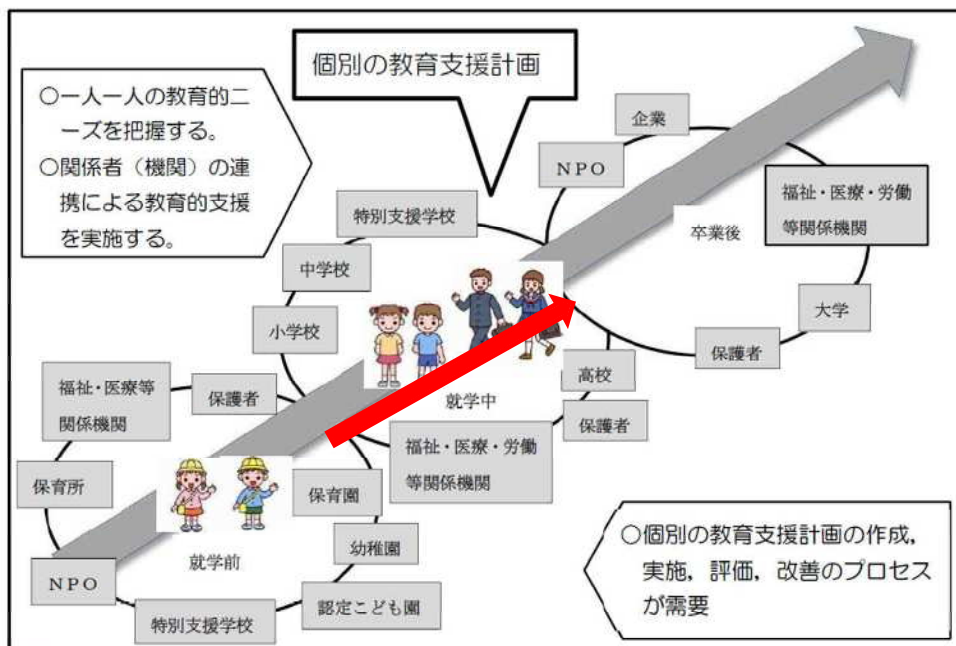
【課題】外国人児童生徒の障害等を見極めるための相談体制等の充実

14

3 豊橋市としての取り組みの成果と課題

(5) 豊橋版「個別の教育支援計画」等の作成・活用

■個別の教育支援計画概念図



豊橋版「個別の教育支援計画の活用と引き継ぎの手引き」より

15

3 豊橋市としての取り組みの成果と課題

(5) 豊橋版「個別の教育支援計画」等の作成・活用

○「個別の教育支援計画」とは

一人一人の教育的ニーズを把握し、乳幼児期から学校卒業後までの長期的な視点に立って医療、保健、福祉、労働等の関係機関と連携し、一人一人に合わせた指導及び支援を行うための計画

○「個別の指導計画」とは

「個別の教育支援計画」を踏まえ、教育課程を具体化し、障害のある児童など一人一人の指導目標、指導内容および指導方法を明確にして指導するための具体的内容の計画

豊橋版「個別の教育支援計画の活用と引き継ぎの手引き」より

16

3 豊橋市としての取り組みの成果と課題

(5) 豊橋版「個別の教育支援計画」等の作成・活用

豊橋市

「個別の教育支援計画」

新様式

【特別支援学級】【通常学級】共通様式

令和 ○ 年度 個別の教育支援計画【記入例】 NO.1	
【作成者】 豊橋 ○子 【作成日】 令和 ○ 年 4 月 3 日	
学校名	豊橋市立 今橋小
学年	1 2 3 4 5 6
学年	2 3 4 5 6
より名	あいち まるまる
氏名	愛知 ○○ 男 平成 ○ 年 9 月 20 日
年齢	3歳児健診での様子(目を含む)に 3歳児健診での様子(目を含む)に 3歳児健診での様子(目を含む)に
【幼少期の様子】	3歳児健診にて、自由スペクトラム症と診断される。 3歳児健診にて、自由スペクトラム症と診断される。 3歳児健診にて、自由スペクトラム症と診断される。
【検査記録・心理検査記録】 障害名があれば記述 手帳等	検査結果は1060、 検査結果は1060、 検査結果は1060、
学習支援	有 C 判定日 令和 2 年 9 月 ○ 日 支援 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日
生活支援	無 種 級 判定日 年 月 日 支援 年 月 日
その他	無 級 判定日 年 月 日 支援 年 月 日

令和 6 年度 個別の教育支援計画【記入例】 NO.2	
【作成者】 豊橋 ○子 【作成日】 令和 6 年 8 月 10 日	
学校名	豊橋市立 今橋中
学年	1 2 3 4 5 6
学年	2 3 4 5 6
より名	あいち まるまる
氏名	豊橋 ○○ 男 平成 ○ 年 8 月 10 日
本人の願い	【本人の願い】
保護者の願い	【保護者の願い】
本年度の目標	【本年度の目標】
合理的配慮	【合理的配慮の明記】
各期の希望・目標	【各期の希望・目標】
学習面	【学習面・生活面の 目標・てだて・評価】
生活面	【学習面・生活面の 目標・てだて・評価】
その他	【学習面・生活面の 目標・てだて・評価】

3 豊橋市としての取り組みの成果と課題

(5) 豊橋版「個別の教育支援計画」等の作成・活用

豊橋市

「個別の指導計画」

新様式

令和 ○ 年度 個別の指導計画【記入例】 (特支)	
【作成者】 豊橋 ○子 【作成日】 令和 ○ 年 9 月 20 日	
学校名	豊橋市立 今橋小
学年	1 2 3 4 5 6
学年	2 3 4 5 6
より名	あいち まるまる
氏名	愛知 ○○ 男 平成 ○ 年 9 月 20 日
本人の願い	【本人の願い】
保護者の願い	【保護者の願い】
本年度の目標	【本年度の目標】
合理的配慮	【合理的配慮】
各教科の 目標・てだて・評価	【各教科の 目標・てだて・評価】
学習面	【学習面・生活面の 目標・てだて・評価】
生活面	【学習面・生活面の 目標・てだて・評価】
その他	【学習面・生活面の 目標・てだて・評価】

令和 ○ 年度 個別の指導計画【記入例】 (通常)	
【作成者】 豊橋 ○子 【作成日】 令和 ○ 年 8 月 10 日	
学校名	豊橋市立 今橋中
学年	1 2 3 4 5 6
学年	2 3 4 5 6
より名	あいち まるまる
氏名	豊橋 ○○ 男 平成 ○ 年 8 月 10 日
本人の願い	【本人の願い】
保護者の願い	【保護者の願い】
本年度の目標	【本年度の目標】
合理的配慮	【合理的配慮】
各教科の 目標・てだて・評価	【各教科の 目標・てだて・評価】
学習面	【学習面・生活面の 目標・てだて・評価】
生活面	【学習面・生活面の 目標・てだて・評価】
その他	【学習面・生活面の 目標・てだて・評価】

3 豊橋市としての取り組みの成果と課題

(5) 豊橋版「個別の教育支援計画」等の作成・活用

- 「個別の教育支援計画」…原則、作成に保護者の同意が必要（学校と親子で作成）
 - ・市で統一した様式を活用
 - 特別支援学級在籍児童生徒
 - 通級指導を受けている児童生徒
 - 通常学級在籍児童生徒についても必要な子に作成
- 「個別の指導計画」…原則、作成に保護者の同意が必要（学校と親子で作成）
 - ・R5年度まで各学校ごとの様式
 - R6年度から市で統一した様式へ（※移行期間あり）

【成果】 将来を見通し個に応じた継続的な支援ができている

【課題】 「個別の教育支援計画」等の活用の充実を図ること
作成について、保護者の理解を得ること

19

3 豊橋市としての取り組みの成果と課題

(6) 教員研修の充実

- 発達障害理解講座（228名）
- 特別支援教育コーディネーター研修会（144名）
- 特別支援担当初心者研修会（124名）
- 通級指導担当教員研修会（57名）等（※R5のべ参加人数）

【成果】 支援方法等のスキルアップが図られている

【課題】 特別支援教育に関する制度変更等の新しい情報を取り入れながら、専門性向上のために研修内容の充実を図る

20

目次

- 1 特別支援教育について
- 2 特別な支援を必要としている児童生徒の推移
- 3 豊橋市としての取り組みの成果と課題
- 4 今後の方向性

21

4 今後の方向性

(1) インクルーシブ教育を視野に入れた支援員の充実

- ・ 支援が必要な児童生徒数の増加
 - ・ 個々への支援充実のため
 - ・ すべての子どもの学びの保証
- 支援員の増員

(参考) 特別支援教育支援員 新入学児童学級対応等支援員

豊橋市	10名	+	65名	=	75名 (週2160h)
豊川市	19名	+	89名	=	108名 (週2052h)
豊田市	83名	+	61名	=	144名 (週1812h)
岡崎市			282名	=	282名 (週3384h)

(2) 医療的ケアの支援体制の充実

- ・ 保護者の付き添いがなくても、児童生徒が安心して学校生活を送ることができる体制づくり

22

4 今後の方向性

(3)「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の活用

- ・ 市で統一した形式を活用し、どの学校でも同じように「個別の教育支援計画」等を活用し、個に応じたよりよい支援が行えるようにする
- ・ 「個別の教育支援計画」等を「幼保小中高特」でスムーズな引継ぎ及び活用ができるようにする

(4)教員研修の充実

- ・ 全ての教職員を対象とした専門性の向上に向け、職務や経験年数に応じた研修の充実
- ・ くすのき特別支援学校と連携した専門性向上のための研修会

23

豊橋市の教育理念

教育は、「生きる力」を磨き、深めること



子どもたちが、自己を確立し、夢や目標に向かって学び、考え、自らの道を自分らしく生きることができるよう育ててほしいと思います。

24